令和７年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人やまなみ会

インターワーク

目　次

１　はじめに　・・・・・　1

２　全体状況報告

(1) 利用者状況　・・・・・　1
(2) 行事等　・・・・・　1
(3) 職員状況（研修、資格取得等）　・・・・・　2

３　個別事業報告

・就労継続支援Ｂ型
①　珈琲事業　・・・・・　2
②　加工事業　・・・・・　3
③　外注事業　・・・・・　3
④　販売状況　・・・・・　3
・生活介護事業　・・・・・　3

４　消防訓練　・・・・・　4

1　はじめに

利用者の高齢化が進む中、施設内での安定した就労の場を提供できるような環境づくりを目指してきたものの、利用者の高齢化、最低賃金の大幅な上昇等もあり、今年４月、Ａ型事業を廃止することとした。新規の利用者の獲得が厳しい状況の中、利用者への能力にあった作業の場を提供し、作業意欲の向上や工賃向上に繋げていけるよう取組んでいく。

2　全体状況報告

(1) 利用者状況

事業	定員	令和６年度 登録者数	令和７年度 登録者数	増減
就労継続支援Ａ型	10	４	０	－４
就労継続支援Ｂ型	20	１６	１６	±０
生活介護	10	４	６	＋２

（令和８年３月末時点）

就労継続支援Ａ型事業のうち就労継続支援Ｂ型事業所へ３名がサービスの変更をし、１名が一般就労となった。就労継続支援Ｂ型事業所では２名が生活介護にサービスの変更をしたため、全体的に前年度より登録者数が減少している状況。

就労継続支援Ｂ型と生活介護ともに定員に達していない状況なので、引き続き相談支援事業所や支援学校と連絡を密に行い、見学者や体験者を積極的に受け入れ、利用者の獲得に努めたい。

(2) 行事等

季節を感じられる内容を取入れ、利用者の方々が喜んでいただけるように計画した。

日付	内容	事業
４月	花見	全事業所
５月	スタミナ会（バーベキュー）	全事業所
６月	お好み焼きパーティ	全事業所
７月	日帰り旅行（陽目の里：そうめん流し）	全事業所
８月	土用の丑の日（ウナギのちらし寿司、野菜の天ぷら）	全事業所
９月	秋の味覚を楽しもう（秋刀魚、キノコご飯）	全事業所
10 月	身障者体育大会・収穫祭（芋ご飯、芋・かぼちゃ・ゴーヤの天ぷら・のっぺい汁）	全事業所
11 月	おでんパーティ	全事業所
12 月	もちつき・クリスマス会	全事業所
１月	どんどや・新年会（荻の里温泉）	全事業所
２月	節分（恵方巻）	全事業所
３月	ひな祭り（ちらし寿司）	全事業所

(3) 職員状況

研修や販売会には積極的に参加し、知識や意識の向上に努めた。

参加会議・研修一覧

研修		主催	人数	形式
5/23	監査研修	熊本県	1名	オンライン
6/9～11	社会福祉主事スクーリング	全国社会福祉協議会	1名	集合
7/23	阿蘇食品衛生協会産山支会総会	阿蘇食品衛生協会産山支会	1名	集合
9/16	第1回施設長・職員研修会	熊本県社会就労センター協議会	1名	集合
10/22	福祉サービス苦情解決研修会	熊本県	1名	集合
11/25	熊本県販売会・商談会前事前研修	熊本県	1名	Zoom
12/25	退職共済事務説明会	熊本県社会福祉協議会	1名	集合
1/23	成年後見制度利用促進研修会	熊本県	1名	集合
2/27	熊本県障害者虐待防止・権利擁護研修	熊本県	1名	集合
3/3	第2回熊本県社会就労センター協議会施設長会議	熊本県社会就労センター協議会	1名	集合
3/5・6	先進地視察研修	熊本県セルプセンター	1名	集合
3/12	集団指導	熊本県	1名	オンライン
3/26	販促委員会	熊本県セルプセンター	1名	集合
3/27	自立支援協議会	阿蘇圏域自立支援協議会	1名	集合

職員会議等の開催

全職員に対する施設の基本方針及び重要案件の確認を都度行った。

虐待防止委員会も計画的に時間を設け、虐待防止についての研修会を開催した。

職員資格習得状況

・社会福祉主事　　1名

3　個別事業報告

（1）就労継続支援B型

今年度は、工賃の見直し等を行い一人ひとりのやる気に繋げることが出来た。感染対策を十分に行い安定して作業に参加できるように努めていきたい。

	工賃総支払額	平均工賃	対象延人数
令和7年度	5,004,530	25,743	4,342
令和6年度	3,037,305	17,825	3,819

①珈琲事業

【サービスの取組み】

空きスペースを有効活用したテイクアウト珈琲の販売、ドンゴロス製品の展示販売を行ったが思ったほど集客が見込めなかった。集客アップに繋がるよういろいろアイデアを出しながら売上に繋げていきたい。

②加工事業

【サービスの取組み】

酵素ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞの製造販売を行っていたが、収支が合わず今年度で製造中止となった。にんにくみそに関しては委託店舗による購入者も増えてきている。

③外注作業

【サービスの取組み】

天候により作業確保が難しいながらも、アーモンドの袋詰め作業など施設内で出来る作業確保によりそれぞれに合った作業参加が出来た。

【課題・次年度への提起】

利用者の高齢化に伴い実習等に参加できる者が減ってきている。環境整備等で作業参加できる工夫を行い施設内でも出来る作業を確保していく。また、利用者の獲得を行うと共に実習先の求める人材の育成にも取り組んでいく。

④販売状況

日付	販売会名	人数	場所	売上金額
8/2	ふくし祭り	5名	JA阿蘇小国郷出荷場	37,600円
9/27・28	くまもと物産フェア販売会	1名	グランメッセ熊本	51,450円
10/4・5	全国ナイスハートバザールin京都	委託	上賀茂神社境内	4,500円
10/8～10	国際機器展（来場者景品）	委託	東京ビッグサイト	64,000円
10/24	オムロン秋祭り	4名	オムロン	49,400円
11/8	福祉施設商品販売会	1名	ゆめタウンはません	12,500円
1/24・25	熊本県販売会・商談会	1名	ゆめタウンはません	19,500円
2/7	うぶやまｎ真冬のフリママーケット	2名	産山村屋内式多目的施設	8,500円
3/4	全国ナイスハートバザールin三笑	委託	県庁ロビー	7,100円

（３）生活介護事業

【サービスの取組み】

入浴介助やリハビリなどで外部サービスを利用する利用者が増えてきた。身体機能の低下予防及び生活能力の維持・向上を図るため体調変化など細かな気配りをしながら一人ひとりに合わせた支援に取り組んだ。

【課題・次年度への提起】

加齢に伴い身体機能の低下などはあるものの、さまざまな刺激を得ることで楽しみを持ち、心身機能の維持・向上に努められるような支援を行っていく。

また、対応する職員の知識、技術の向上にも継続して努めていく。

4　消防訓練

日時	参加数	訓練の種別	想定火点
8/29 10:00	職員：6 名 利用者：17 名	通報訓練 避難訓練	インターワーク作業場
3/19 10:00	職員：5 名 利用者：16 名	通報訓練 避難訓練	インターワーク作業場